



## 特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和元年 5 月 23日

島根県知事 殿



提出者

住所 東京都港区港南一丁目2番70号

氏名 株式会社 日立メタルプレジジョン

代表取締役社長 中野 英治

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0854-23-1122(安来事業所)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、平成30年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 日立メタルプレジジョン 安来事業所
事業場の所在地	島根県安来市飯島町1240番地2
事業の種類	鋳鋼製造業 [2663]
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日

## 特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

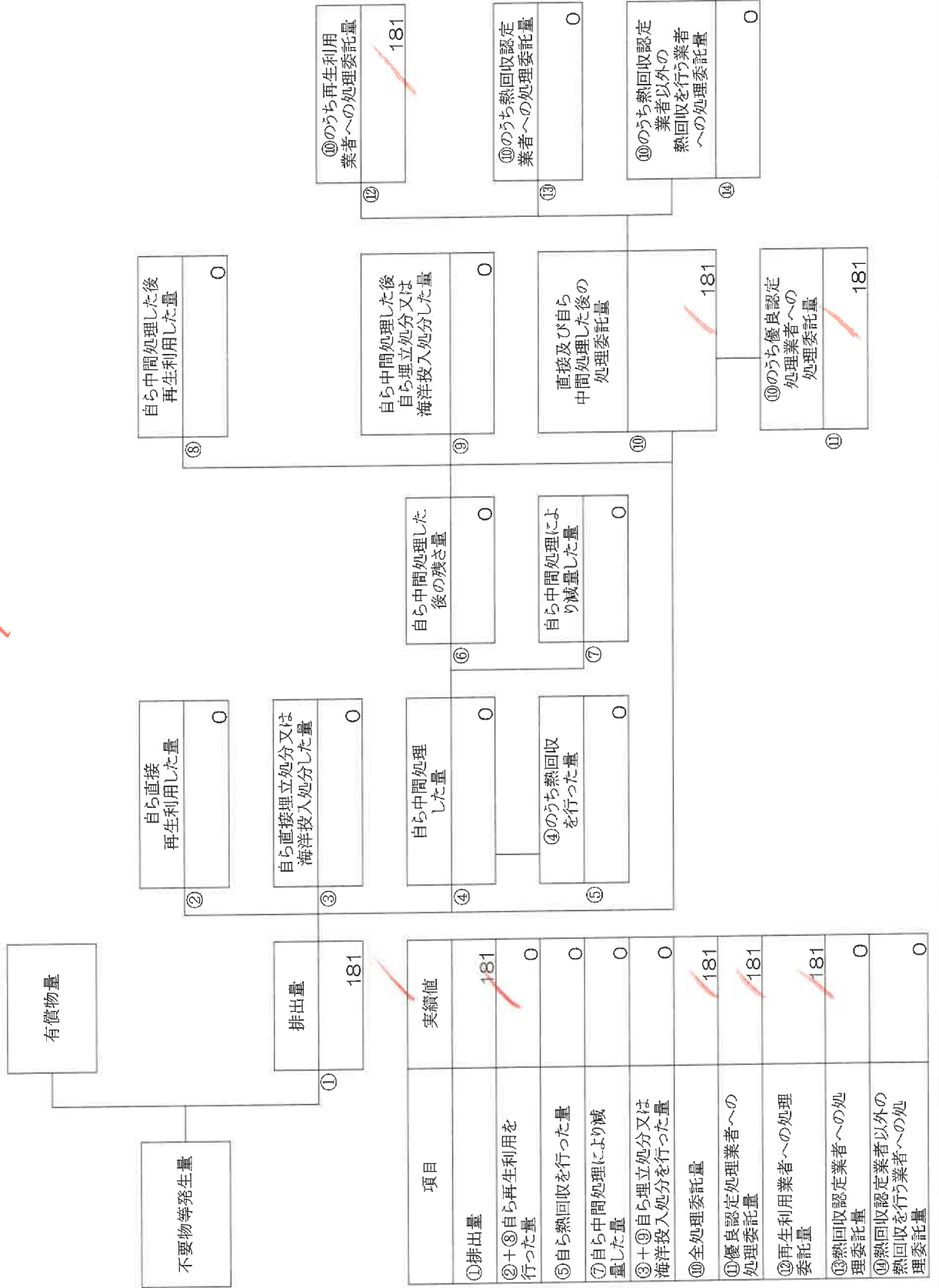
項目	目標値	項目	目標値
排出量	185t	全処理委託量	185t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	185t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	185t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

※事務処理欄

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃アルカリ)



項目	実績値
①排出量	181
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④+⑤自ら理立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	181
⑪優良認定処理業者への処理委託量	181
⑫再生利用業者への処理委託量	181
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

【 参考資料 】 産業廃棄物処理計画実施状況報告書の入力用シート

産業廃棄物の種類 名称	計 画 実 施 状 況															
	①排出量	②自ら直接再生利用した量 (t)	③自己直接埋立処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理し た量 (t)	⑤④のうち 焼回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残さ した量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した 量 (t)	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量 (t)	⑨自ら中間処理 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した 量 (t)	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量 (t)	委託先による区分 ⑪ = ①-②-③-④+⑤-⑥-⑦ = ⑧+⑨+⑩+⑪			⑫他の処理業者 への処理委託量(t)	⑬優良認定処理業者 への処理委託量(t)	
廃アルカリ	181	0	0	0	0	0	0	0	0	181	0	0	0	0	0	181
合計	181	0	0	0	0	0	0	0	0	181	0	0	0	0	0	181